

農 林 か わ ら 版

第40回農村生活 工夫展開催!



12月8日(金)、福祉センターにて福島町農村改善グループ主催の「第40回福島町農村生活工夫展」が開催され、改善グループ会員が丹精込めて作った漬物や、黒米を利用した料理と手芸品等の7部門合計で80品ほどの作品が出品されました。

一般公開では、大勢の来場者がテーブルに並んだ料理を試食し大変好評でした。

また、農村生活グループ会長中塚和子さんへ鳴海町長より40回開催の功績を讃え感謝状が贈呈されました。

ご意見やお問い合わせは 産業課農林係まで ☎ : 47-3002 FAX : 47-4504まで

地域おこし協力隊のふくしま散歩!



地域おこし協力隊
猪熊 矩嗣

新年あけまして
おめでとーうございます。

町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年4月に地域おこし協力隊に着任し、何かと不慣れな私に、大変温かいお声掛けや、多くのご協力を賜り、誠にありがとうございました。

引き続き本年も何卒よろしく申し上げます。

さて、協力隊の活動として、主に福島町観光協会の事務局に就任しております。イベントの運営や企画、観光に関する業務をしておりますが、10月のカントリーフェスティバルを最後に福島町観光協会主催の年内イベントは全て終了となっております。季節柄、春から夏にかけて大小のイベントにぎわいますが、秋から冬の間はイベントも少なくなり、福島町のメイン観光スポットである横綱記念館と青函トンネル記念館も冬季休館となるなど、一抹の寂しさを感じて日々を過ごしているところがあります。

そんな中、吉岡温泉ゆとらぎ館は、ほぼ年中営業しており、少し気になったので調べてみますと、月に約5千人以上、年間ですと約6万人超の入湯者がいらつしやるのが分かりました。もちろんリピーターの方も大勢おられますが、人口約4千2百人の町では中々の利用者数ではないでしょうか?

恥ずかしながら、子供の頃や学生時代にしか利用した記憶がない私には驚きの数字でした。(反省し、今年は利用します!)

そこで改めて館内を見て回ると、玄関に展示スペースがある事に気が付きました。

スペースには福島町の特産品などを展示しており、聞くと長年その展示内容が全く変わっていないようで、もったいないなあと考えていたところ、同時期に周囲よりあのスペースで「何かできないか」との声があったので、来客者に福島町の写真をみてもらうのはどうかと案を出させていただき、さっそく昨年11月より展示いたしました。

是非、この機会に吉岡温泉をご利用して頂いた際は、このコーナーにも目を向けていただきたいと思います。

今後、季節に合わせて写真の入替えや、イベントの特集なども企画したいと考えております。写真の展示はとも小さいことかも知れませんが、寒い季節に少しでも心温まるものを増やしていきたいと新年、心新たに故郷を想うところでもあります。